

炭酸ガス(二酸化炭素) (不活性ガス 無色・無臭)

分子式	CO ₂	分子量	44.01
容器の色	緑色	容器の種類	可搬式低温容器
用途	溶接・溶断、ドライアイス製造、冷却		
該当法規	高圧ガス保安法、労働安全衛生法		
物理的性質	<p>不燃性の無色、無臭のガス</p> <p>比重(ガス体): 1.54</p> <p>沸点: -78.5</p> <p>液比重: 0.77</p>		
化学的性質	<p>やや不活性であり、多くの金属に対しほとんど影響を与えないが、水分を含むと炭酸を生じて鋼材を腐食する。</p> <p>酸素が共存したり、高圧下では腐食は更に激しくなる。</p> <p>温室効果ガスとして知られているが、通常の状態では環境への影響はない。</p>		
注意事項	<p>皮膚に触れると凍傷を起こす。</p> <p>密閉したり、換気の悪い場所に置いたりしない。</p> <p>(ドライアスを常温で密閉容器に閉じ込めると破裂の恐れがある。)</p> <p>炭酸ガス自体に毒性はないが、密閉された部屋などで大量に漏れ出すと、空気中の酸素を追い出し、酸素欠乏症となる。</p> <p>二酸化炭素は空気より重く(空気の1.5倍)、低い場所に滞留し高濃度になり易い。濃度が高いと窒息の恐れがある。</p> <p>液化二酸化炭素を大量急速に放出すると、雪状ドライアスの生成に伴い静電気が発生し、可燃性混合気体に着火することがある。</p>		

炭酸ガス(二酸化炭素) (不活性ガス 無色・無臭)

事故時の措置

漏えいしたとき

バルブを閉めるなど、漏えいを止める。
施設からの漏えいが止まらない場合には、通風をよくして事故の発生を大声で告げ、避難させる。

火災のとき
・
周辺での火災のとき

不燃性なので火災の危険はない。
周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。
移動できない場合は、ガスブロー弁、液ブロー弁を開放し放出するか、容器及び周囲に散水する。
放出口付近は、窒息の恐れがあるので何人も近づかない措置をとる。

救急処置

凍傷が軽い場合は、局所の摩擦だけで良いが、重い場合には擦らないで微温湯で加温し、ガーゼ等で軽く包み、速やかに医師の治療を受ける。
目に入った場合すぐに医師の処置を受ける。
吸引した場合、新鮮な空気中に移し、衣服をゆるめ毛布などで暖かくして安静にさせる。
意識を失っている場合には、衣服を緩め呼吸気道を確保して人工呼吸を行い、速やかに医師の治療を受ける。

特記事項
(人体に対する影響)

炭酸ガス自体には毒性はないが、濃度が高くなると単純窒息性の危険がある。

緊急通報例
119(消防署)

- 1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で
- 2 なにが 「不燃性の炭酸ガス」が
- 3 どうした 「漏れています。」
- 4 時間は 時 分 頃 です。
- 5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」
- 6 私の名前は 工場 課の です。